

【有志の会からの今後の見通し】

現時点（10月10日12時現在）では、(株)Blue Resort 乗鞍がスキー場を松本市に無償譲渡する意向を正式文書で申し入れるよう依頼をしているところです。

その書面を受けて松本市は譲渡受け入れについて検討を行います。

地元としては、支援の締切後（どのような結果になっても）松本市へ報告を行いますが、支援金額が達した場合は、無償譲渡受け入れへの嘆願を行います。

支援が集まり、営業継続が決定した場合、来る24/25シーズンの営業は株式会社Blue Resort 乗鞍の名義で行われ、シーズン終了を目処に松本市の判断を待つこととなります。

その間地元メンバーを中心としたスキー場運営協議会を立ち上げ、スキー場各部門責任者と定期的なミーティング（2週間に一度程度）を行い、また協議会メンバーが現場に足を運び、業務体制の改善を推進する予定です。

譲渡が決定した場合は、株式会社Blue Resort 乗鞍は24/25シーズンの営業損益を含んだ状態で松本市が引き受けるのか、会社ごと松本市への譲渡ということも考えられ、選択肢はいくつかあるかと思います。いずれにしても、地域で赤字損失の補填をすることは不可能なので、仮に無償譲渡が叶わなかった場合は、赤字処理のため、破産することも考えられますが、今抱えている状況と変わりはないので、先送りされるだけと考えています。

松本市へのスキー場譲渡完了後には改めて運営企業や団体を探す予定ですが、その際にも「スキー場運営協議会」は継続され、地元の意見が運営に反映されるようにします。